



市長がグリーン産業に 直接解決の訴えを

6月議会報告

更新は 受け付けたまま

新家地域ではグリーン産業による悪臭が続いています。大阪府はグリーン産業の営業更新申請を4月15日に受け付けましたが、まだ更新の可否の決定をしていません。

大阪府は業者に改善のための指導を行っています。暑い中、ストレス、食欲不振、不眠など健康被害も心配されます。

泉佐野市と協力して

大森議員は市長に「直接、業者に住民の苦しみ、怒りを伝えて欲しい」「市長が泉佐野市長にも働きかけ業者に

解決を迫って欲しい」と質問。

市長は「現在、府に強力に要望しているため、いま業者と直接会うこととはない」旨の答弁がありました。



市長が先頭に

泉南市は「昨年10月には解決する」と説明してきました。それが守られていない責任は重く、市長が解決の先頭に立つことが大事です。

府と交渉おこなう

府と交渉おこなう



7月4・5日、岸上府議（堺市選出）とわけ衆院候補と悪臭問題、30人学級の実現、街かどディスプレイの充実、府道の安全確保について大阪府に要望を行いました。

悪臭問題では、市長をはじめ住民の願いは営業の更新を認めないことであると訴え、質

臭気指数で10までさげるように指導をしていると回答。

更新について

今後1ヶ月をめどに、認可の可否について結論を出したいと回答。

今後の動き

- 更新の要件は悪臭の解決の見通しの上に
- 市議会や公害対策審議会への説明
- 住民説明会の開催
- 住民と業者の間で環境協定書の締結
- を行う必要がある

府の指導は

問をおこないました。一、業者への指導に問題は無いのか。一、更新の可否の決定の時期について（可否の決定は申請の受付から遅くとも2ヶ月以内でおこなう）。

府の指導は

5月24日の臭気測定で臭気指数は15でした。府は業者に

岸上府議は「昨年10月までの解決の約束が守られてないのに、更新ができるのか」と批判しました。

大森和夫のホームページ「活動日誌」より

不明朗な公金処理の徹底説明と再発防止を (2005.07.14)

泉南市は市会議員の団体生命保険に加入し、30年間公費で保険金を支払っていました。この保険の配当金が、毎年、議会事務局長が管理する通帳に入金がありましたが、配当金が市に返還されていませんでした。

その後、議会事務局長は記録のある87年度以降の配当金51万円を市に返還しました。局長は今月はじめに議長に辞表を提出しています。また、今年度から保険の加入もとりやめました。

7月12日の新聞報道やテレビで報道され、市民のみなさんには大変な心配やご迷惑をおかけしたと思います。

市民のみなさんから

- 1、公金の不明朗な使い方は他の部署にはないのか
- 2、議員に特別扱いする制度は、ほかにないのか
- 3、公金の不明朗な処理の実態を市や議員は明らかに出来るのかなどの、質問や不満が寄せられました。

行政には

- ・配当金の返金がないことに誰も気づかなかったのか。
- ・全ての公金の処理が適正に行われているか、再調査すること。
- ・局長が35年間も議会事務局に勤務したのか。人事異動をしなかった理由を明らかにすること。

- ・議員の可否を決定さらに遅れる
- ・悪臭・保育所の民営化・イオン道路など
- ・配当金が管理された通帳を公開すること。
- ・議員を特別扱いする制度の調査の見直し
- ・議会としての自浄能力を発揮し、再発防止策を明らかにすること

そのためには、市民も入れた問題の徹底説明と再発防止に取り組む委員会も必要ではないでしょうか。

大森和夫のホームページをご覧ください

ホームページのアドレスは

<http://www.ashitanojcp.net/~k.oomori/> です。



くらしの相談
多重債務・サラ金被害など
何でも相談ください

市政へのご要望
街づくりの提言など
ご意見お寄せください